

# 中国最新事情

10月各地切花市場

(株) 大田花き

## ■ 北京

今期は国慶節の「十・一」大型休暇があり、婚礼ピーク期でもあるため各種類の生花の動きは、ほぼ上向き状況にある。

### バラ

全体的に上伸び、連休期間中の動きが特に目立っていた。

「カローラ」の平均は1.62元/本と32.17%の上昇。

「ブラックマジック」は1.38元/本と17.3%の上昇。

「ティケネ」は1.47元/本と32.62%の上昇。

「ファンデーション」は1.36元/本と26.34%の上昇。

「シャンパン」は1.53元/本と11.04%の上昇であった。

### 百合

「シベリア」の平均は、5.33元/本と13.01%の下落。

「ソルボンヌ」は5.33元/本と9.96%の上昇。

「黄百合」「金百合」の平均は1.50元/本と前期水準を維持した。

「鉄砲百合」は1.81元/本と25.59%の上昇で、全体的には上記の通り目立った動きは見られなかった。

### カーネーション

比較的人気商品であり、平均は0.49元/本。前期比は34.74%とまずまずのレベルにある。

### 草花

主要品目の好調に連動して、価格は明るく変動を見せた。

「ソリダゴ」は0.26元/本と前期比では52.16%の上昇。

「かすみ草」は56.41元/kgと前期比では55.05%の上昇。

「スターチス」は26.56元/kgと前期比では26.29%の上昇。

「リモニューム」は15.56元/kgと前期レベルであった。

### 菊

供給量が減少したこともあり、相場は上向きである。

「黄菊」は0.65元/本で前期より33.67%の上昇。

「白菊」は0.77元/本で前期より30.27%の上昇であった。

## ■ 上海

秋晴れのさわやかな季節で、国慶日連休にブライダルが集中した。百年も仲良くと祝福する「百合」、愛情や友情のシンボルの「バラ」が売れ筋で、前月比は小幅に上昇した。人の流れに伴い、鉢花の業績も上々である。

18日現在、上昇組は、

「百合」は6.00元／本で、前月の5.00元／本より20%の上昇。

「カーネーション」は0.55元／本で、前月の0.45元／本より22%の上昇。

「洋蘭」は0.85元／本で、前月の0.75元／本より13%の上昇。

「唐菖蒲」は1.20元／本で、前月の0.80元／本より50%の上昇。

「菊」は0.40元／本で、前月の0.33元／本より21%の上昇。

「ストレリチア」は7.00元／本で、前月の6.50元／本より7.7%の上昇であった。

下落組は、

「バラ」が0.75元／本で、前月の0.80元／本より6%の下落。

「ガーベラ」が0.20元／本で、前月の0.25元／本より20%の下落であった。

11月は最も売れ行きが悪い月なので、10月期よりは落ち込むとの予想である。但し、鉢物にはいい気候のために一定の販売量が見込める。

## ■ 広州

「十・一」連休に連動して、婚礼や慶事需要の増加で、9月下旬から10月上旬の間がピークとなってほとんどの品目は、ある程度の上昇が見られた。物日の後はすぐに9月中旬レベルまで反落したが、需要は比較的安定しているため、価格の動きも落ち着いている。

「バラ」「ガーベラ」「百合」等の人気品目の相場は、需要と呼応した動きである。高品質の「昆明産バラ」の価格は9月中旬の1.30元/本より、最高時50元/本上がった。また「ガーベラ」も0.30元/本より最高0.80元/本に達した。

国慶節以外にも重陽節需要で、「菊」「白色バラ」「唐菖蒲」は、やや上昇した。例えば「唐菖蒲」は1.30元/本より1.65元/本までと上昇の動きを見せた。葉物、添え花類は全般的に安定している。

11月期はきっかけになるイベントの需要が減少するけれど、10月の下旬より冬の生産調節期に入り気温も段々下がるため生産量は減るけれど、質の向上が出来るので、11月の相場は安定するとの見通しである。

## ■ 昆明

全体的に上昇傾向にあり、平均 1.69 元／本と前月比 7.6%上昇した。

### バラ

今期は 9 月より微落した状況で、平均 0.56 元／本と同比で 33.18%上昇した。価格は 0.40～1.30 元／本で、その落差の主な原因は国慶節の前後の需要による変動である。

「ブラックマジック」「カローラ」の平均は 0.44 元／本で前月比で 27%上昇。「ムービースター」「サニーピンク」や「ベルシリア」の平均は 0.61 元／本と 57%の上昇。

「パピヨン」「アルスメルゴールド」の平均は 0.64 元／本と、47.5%の上昇。そして今年の売れ筋の一つであった「アバランチェ」の平均は 0.81 元／本で首位となり、29.12%上昇し、3 月期以来の最高値であった。

### カーネーション

相場は大きく上伸し、平均は 0.30 元／本と 2 月以来の最高値で 59.25%に上昇。

「紅色恋人」の平均は、今月の最高であり 0.34 元／本と 87.8%上昇。

「シャルマン」は、0.26 元／本で 72.2%上昇。

「リバティ」は、0.30 元／本で 103%と上げ幅は最大であった。

### ガーベラ

8 月 25 日に 0.03 元／本という歴史的低位を突破してから、徐々に上伸した。10 月中旬には平均 0.23 元／本と、5.9%上昇し今年 2 月以来の最高値となった。

「サバナ」「ロサベラ」の平均は 0.24 元／本と同比で 5.0%上昇。

「サバナ」は最高時で 0.26 元／本も付けた。

「ピトン」は持続的に上昇し、平均 0.24 元／本で同比で 22.34%上昇。

生産側は引き続き生産基地の建設や改善、上場量の調整に力を入れているため相場の変動が有効に反映した。

### 百合

相場は反発した状況で、「東方百合」「鉄砲百合」「O T 型百合」の総平均は 3.71 元／本で、同比で 44.32%の上昇。

大口品種の「東方百合」系は 4.29 元／本で、同比で 44%の上昇。中でも「ソルボンヌ」の平均は 3.95 元／本と上げ幅も最大 60%に達した。「ロビーナ」の売値は 5.60 元／本と最高であり、同比で 47.4%の上昇であった。

「O T 型」系の「マニッサ」の売値は 5.25 元／本で同比では 44%の上昇。

該当品種は生産量の増加に連れ、相場は「東方」系品種とほぼ同水準にある。

「鉄砲百合」の平均は 1.20 元／本で同比では 32.1%の上昇。「アジアンティック」は今回市場に顔を出していない。

### 其他

「リモニューム」の平均は 5.66 元/kg, 「菊」は 0.63 元/本, 「アンスリューム」は 3.88 元/本, 「オンシジューム」は 2.93 元/本とそれぞれ下落したが、他は上

昇傾向である。

なかでも「スターチス」は 22.25 元/kg と上昇幅が 96.42% でトップである。次いで「かすみ草」は 25.00 元/kg で、50% の上昇。「金魚草」は 0.12 元/本で 20.4% の上昇。「トルコ桔梗」は 1.82 元/本で、5.6% の上昇。「ソリダゴ」は 0.27 元/本で、同比で 6.03% の上昇であった。

10月24日の霜降のあとは、生産地の気候が段々と寒くなり、花の質も段々良くなるので、需要の増加に連れ相場の回復に期待ができそうだ。